

龍雲寺御詠歌部 新規会員募集

4月から心機一転、新体制がスタートします。これを機に10年ぶりに会員募集

新しい仲間とのご縁が日々を豊かに

御詠歌は仲間と一緒に心を一つにお唱えすることが最大の魅力です。

人との縁が年々薄まりつつある現代社会ですが、素晴らしい生き方をして行くには仲間が必要だとお釈迦様も説いています。

一つのことを共に行い、話をし、想いを共有していく仲間が一人でも多い事こそが人生を豊かにします。

龍雲寺での御詠歌の活動を通じ、新たなご縁を広げていただければ幸いです。

難しいことはありません。お試しでも構いません。まずは一歩踏み出してみませんか？お寺でお待ちしております。

女性なら
どなたでもOK

お寺で友達
作りませんか？

御詠歌の指導はご縁ある和尚さんを招いて行います
お寺の奥さんと一緒に楽しく学びましょう

お問い合わせ お電話 053-447-1231

御詠歌とは

寺院や霊場を巡礼する際に、
人々が唱える歌のこと



御詠歌とは「ごえいか」と読み、寺院や霊場を巡礼する際に、一般の人々が唱える歌のことです。鈴や鉦を鳴らしながら詠われます。一節のみの単調な旋律であることが特徴的です。

御詠歌はインドを起源とし、中国を経て「仏の教えやその教えを説いた師を賛美する詩句」として日本に伝わったと考えられています。その後日本の言葉で仏の教えを賛美した「和讃^{わさん}」が生まれました。

当初の和讃は、僧侶などの限られた身分の人のみが詠うものでしたが、平安時代中期になると民衆にも仏の教えを伝えようと和讃が広まるようになります。そして、七五調の連句である和讃に旋律を乗せて詠うようになりました。

これらが継承され、現在の御詠歌に通じているとされています。

現在の御詠歌は

- 三十一文字（五・七・五・七・七）の和歌に旋律を乗せて作られる「詠歌」
- 七五調の歌詞にメロディをつけた「和讃」

に分けられます。

御詠歌新規会員募集

開催
会場

龍雲寺

参加
資格

女性ならどなたでも
※檀家の方以外でもOK

開催
日程

令和6年4月より、月2回開催 金曜日10時～12時
※月により変更の可能性あり。椅子席でも行えますのでご安心ください。

参加
費用

参加費や年会費など不要
※自身のお道具や、
試験を受ける場合の検定料は各自

4月以降も
随時会員募集

お申込み方法

お電話またはホームページよりお申込ください。

お電話 053-447-1231

ホームページはこちら▶

